



トヨタ アクア

専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

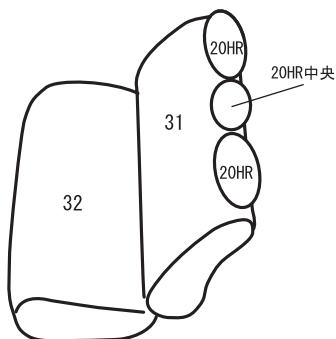
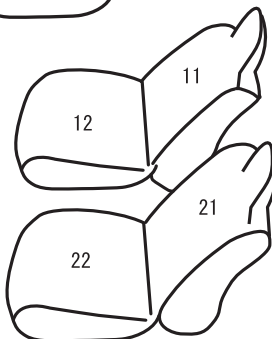
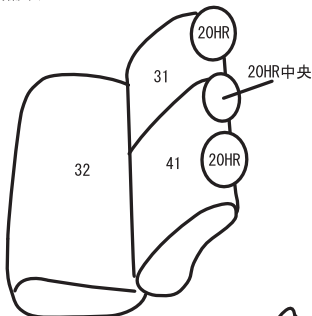
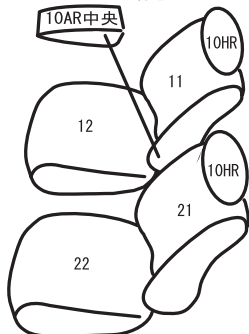
1061/1062/1064

本製品シート形状とパーツの名称

1 列目運転席側アームレスト装備車用 ※ET-1064に同梱

10AR右席内側

※アームレスト付きコンソール装備車用



フロントシートバック一体式
セカンドシート一体式

取付必要工具



工具名

- ① ソケットレンチセット (14mm)
- ② プラスドライバー
- ③ ヘラ (同梱)

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2023年10月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管してから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

1 列目座面

※当説明書は主にマイナーチェンジ前の車を使用して作成しています



①始めにシート背面下からシート裏にゴムで固定されている図の部分を外します。



④シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



②助手席側のシート裏の図です。助手席側はシート裏に別の生地が覆っているので、生地の間隙からゴムを外して①の部分を外します。



⑤カバーをシート全体にかぶせる際にカバーの加工穴にシートベルトバックルを通します。



③カバーを裏返してシートのラインに合わせます。



⑥カバーをシート全体にかぶせた際に図の赤ラインの部分にシートとカバーの隙間が出来ている場合は、カバーが前側にずれているので、矢印方向にカバーを引き、シートとカバーの位置を合わせます。



- ⑦ 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で行って下さい。



- ⑩ シートの付け根部分は隙間が大変狭くなっています。生地をシートとプラスチック部の真下に入れ込むのではなく、生地を外方向へ入れ込むときれいにおさまります。



- ⑧ 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。図はシートヒーター装備車のカバーです。シートヒーターが装備されている車は、図の配線部分を交わして生地を引き出して下さい。



- ⑪ シートの内側面です。カバーの生地をめくり上げると生地裏にマジックテープが付いています。マジックテープをシートに直接貼り付けて固定します。



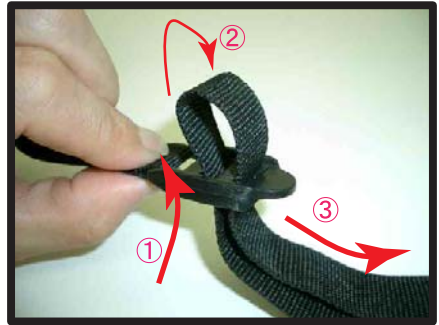
- ⑨ カバー外側面の生地をシートとプラスチック部の隙間に入れ込みます。入れ込みづらい場合はヘラなどを使用して下さい。



- ⑫ ⑪ でめくり上げた生地を、図の隙間に入れ込みます。



⑬ 2ページの⑫で入れ込んだ生地下にマジックテープが前後に2箇所付いています。マジックテープは直接シートに貼り付けて固定します。



⑭ ベルトは①→②→③の手順で、まずバックル中央に通し、折り返してバックルの端に通します。通したベルトを引くとカバーの前後を引き絞りに固定されます。



⑭ カバー前方にベルトが付いています(2本)。ベルトはシート裏を通してシート背面に回します。



⑮ 2ページの⑧でシートヒーターの配線を交わした生地の内側を、直接シートに貼り付けて固定します。
※シートヒーター装備車のみ



⑮ ベルトは2ページの⑧で引き出した生地が付いているバックルを通して固定します。



⑯ カバーのラインを整えて、1列目運転席側座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。

1 列目背もたれ(ヘッドレスト分離式)

※シートバック一体式の背もたれは6ページからご覧下さい

※運転席内側面にアームレストが装備されている車は、19ページを先にご覧下さい

※シート背面にコンビニフックが付いている車は、23・24ページをご確認下さい



①カバー背面のファスナーを開けた状態で、シートのラインに合わせてかぶせます。

※この際、1ページの①で外した部分は、めくり上げて背面のカバーの中へ入れ込みます。



④背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。

※⑤⑥の内容を先に確認して下さい。



⑤入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。図はシートヒーター装備車のカバーです。シートヒーター装備車は図の配線部分を交わして生地を引き出して下さい。

②ヘッドレストの台座を取り出します。まず台座の片側のフチに生地をしっかりと潜り込ませます。



③生地の伸びを利用して台座を取り出します。



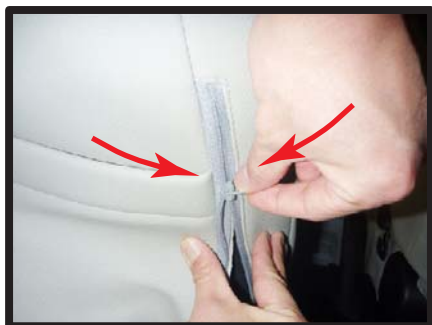
⑥入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。サイドエアバッグ装備車は、配線部分を端へ寄せて生地を引き出して下さい。



⑥①→②→③の手順で背もたれ側面の生地をシートに馴染ませていきます。側面のシワが消えるまで繰り返し行って下さい。



⑩シート側面の付け根部分に生地をしっかりと入れ込みます。



⑧カバー側面のファスナー部分です。生地を内へ寄せながら、ファスナーを慎重に閉じます。



⑪4ページの⑤で引き出した生地と、カバーの背面のポケット下の裏生地部分を、マジックテープで固定します。

※この際もシートヒーター・サイドエアバッグが装備されている車は、配線部分が無理に引っ張られたりしないように、十分注意して作業して下さい。



⑨ファスナーを完全に閉じて、カバーからはみ出している部分を折り返します。折り返したファスナーをカバーの中へ入れ込みます。



⑫カバー背面下に付いているゴムに付属のS字フックを取り付けます。

1列目背もたれ(シートバック一体式)



⑬S字フックはシート裏の金属部分に引っかけて固定します。



① 1ページの①で外した部分は元に戻さずにカバーの取り付けを行います。



⑭カバー背面下部分は図のようになります。



②カバーを半分程裏返して、シートのラインに合わせてかぶせます。
※この状態でヘッドレストの先端まで生地にシワが無くなるように、しっかりとかぶせて下さい。



⑮カバーのラインを整えて、1列目運転席側背もたれの完成です。
助手席側も同様に取り付けます。



③ 1ページの①で外した部分をめくり上げてカバーの中へ入れ込みます。



④シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



⑦①→②→③の手順で背もたれ側面の生地をシートに馴染ませていきます。側面のシワが消えるまで繰り返し行って下さい。



⑤背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑧⑥で引き出した生地と、カバー背面のポケット下部分を、マジックテープで固定します。

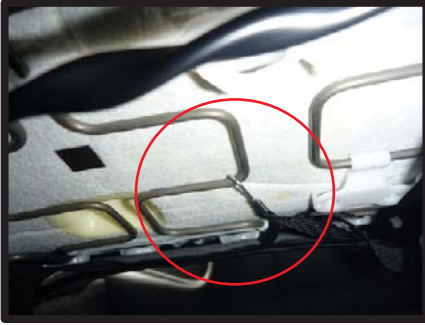


⑥入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



⑨カバー背面下に付いているゴムに、付属のS字フックを取り付けます。

2列目座面



⑩ S字フックはシート裏の金属部分に引っかけて固定します。



⑪ カバー背面下部分は図のようになります。



⑫ カバーのラインを整えて、1列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取付けます。



① 始めにシート前方下から側面まで覆っているプラスチックカバーを外します。図のネジのような部品はプッシュリベットと言う名称です。プッシュリベットの中心部分をへら先の角などで押します。

※プッシュリベットは破損しやすい部品ですので、作業は慎重に行ってください。



② 中心部分を押し込み、プラスチックカバーを少し手前に引くとプッシュリベットが外れます。



③ 全てのプッシュリベットを外します。オレンジの丸印部分にフックがあり、図の金属バーに引っかかっているため、少し持ち上げると図のように外れます。



④プラスチックカバーは慎重に車外へ運び出して下さい。



⑦シートベルトバックル収納部のカバー生地にはゴムが2本付いています。始めに片方のゴムを2個有るバックルの両方に通します。



⑤カバーを裏返してシートのラインに合わせて合わせます。



⑧もう片方のゴムも両方のバックルに通します。



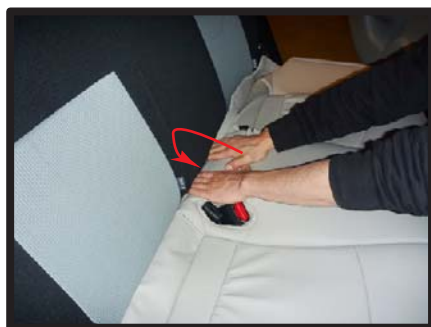
⑨シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。図はカバー側面部分です。シートを包み込むようにカバーをかぶせて、シート下の黒地の部分にマジックテープで貼り付けて固定します。



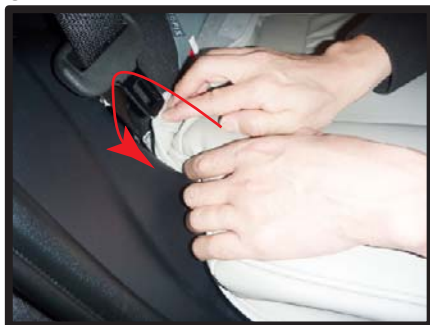
⑨ゴムを通したらシートベルトバックル収納部のフチに生地を入れ込みます。運転席側は図のようになります。



⑩助手席側は図のようになります。



⑬シートの中央部も同様に固定します。



⑪シートの付け根部分の角です。シートを持ち上げるように浮かせながらカバーを包み込むようにかぶせます。かぶせたカバーの生地裏にマジックテープが付いているので、直接シートに貼り付けて固定します。



⑭カバー前方も直接シートに貼り付けて固定します。

※この際生地を引っ張りすぎると始めに外した、プラスチックカバーの固定穴をふさいでしまいますので、ご注意ください。



⑫オレンジの矢印位置の部分をしっかりと押さえて、この位置からカバーがずれないようにします。カバーをシートに包み込むようにかぶせてマジックテープで固定します。

※オレンジの矢印の位置からカバーをずれて固定すると、カバーに浮きが出てきます。



⑮シート前方の中央部も同様に固定します。



⑯最初に外したプラスチックカバーを元に戻します。丸印のある位置にフックがあります。フックをシート下の固定バーに引っかけて戻します。



⑰プッシュリベットは外す際は中心部分を押し込みましたが、戻す際は中心部分を図のように突き出た状態にしておきます。



⑱プラスチックカバーを固定する穴位置にしっかりと合わせて、プッシュリベットを通します。

※図は中心の部分を抜いています。 — 1 1 —



⑲最後に中心の部分を押し込むと元通りに固定されます。

※プラスチックカバーを元通りに戻せるように、カバーは全てをプラスチックカバーとシートの際間に生地が入るようには出来ていません。固定用のプッシュリベットを差し込む位置の付近は、予め生地を短くしています。



⑳カバーのラインを整えて、2列目座面の完成です。

2列目背もたれ(6:4分割)

※2列目背もたれ一体式は14ページからご覧下さい

※シート背面にコンビニフックが付いている車は、23・24ページをご確認下さい



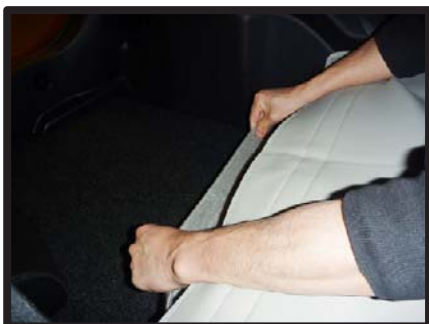
①側面のファスナーを開けた状態で、カバーを半分程裏返して、シートのラインに合わせてかぶせます。



④背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



②シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



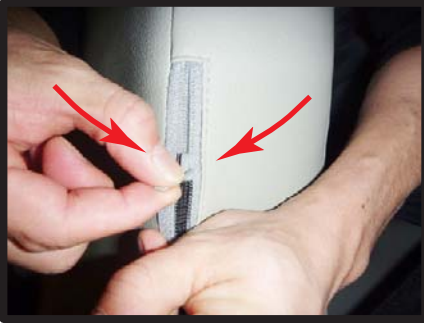
⑤入れ込んだ生地を背面から引き出します。



③ヘッドレストの台座、ロック解除のレバーを加工穴から取り出します。



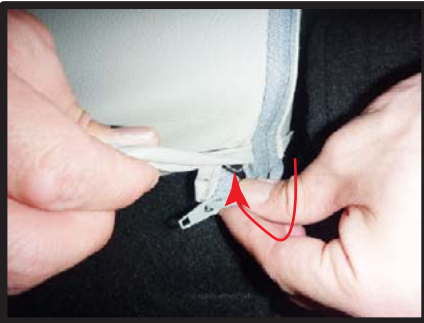
⑥シート付け根の角の部分は、包み込むようにカバーをかぶせます。



⑦カバー内側面のファスナー部分です。生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。



⑩カバー背面下は図のようになります。



⑧ファスナーを完全に閉じて、カバーからはみ出している部分を折り返します。折り返したファスナーをカバーの中へ入れ込みます。



⑪シートをロックする部分の回りに、生地を直接シートに貼り付けて固定します。生地がロック部分をふさがないように固定して下さい。



⑨12ページの⑤で引き出した生地とカバーの背面下をマジックテープで固定します。



⑫チャイルドシート固定用バーのあるプラスチックカバーのフチに、生地を入れ込みます。

2列目背もたれ(一体式)



⑬フチに生地を入れ込むと図のようになります。



①側面のファスナーを開けた状態で、カバーを半分程裏返して、シートのラインに合わせてかぶせます。



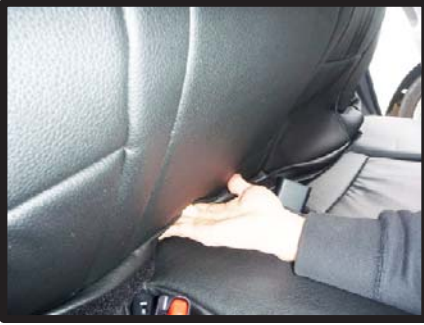
⑭カバーのラインを整えて2列目助手席側背もたれの完成です。運転席側も形状は異なりますが同様に取り付けます。



②シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



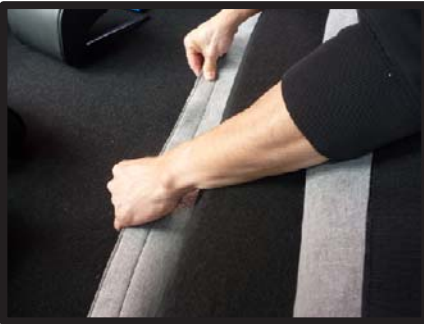
③ヘッドレストの台座、ロック解除のレバーを加工穴から取り出します。



④背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑦カバー外側面のファスナー部分です。生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。



⑤入れ込んだ生地を背面から引き出します。



⑧ファスナーを完全に閉じて、カバーからはみ出している部分を折り返します。折り返したファスナーをカバーの中へ入れ込みます。



⑥シート付け根の角の部分は、包み込むようにカバーをかぶせます。



⑨⑤で引き出した生地とカバーの背面下をマジックテープで固定します。

1列目ヘッドレスト



⑩カバー背面の切り込み部分と、チャイルドシート固定用バーの位置を合わせます。



⑪カバーを半分程裏返して、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。この際ヘッドレストの先端までしっかりとかぶせて下さい。カバーは平らなプラスチック部品が付いている方が前になります。



⑫シートをロックする部分の回りに、生地を直接シートに貼り付けて固定します。生地がロック部分をふさがないように固定して下さい。



⑬ヘッドレストのラインからずれないように、カバーをヘッドレスト全体にかぶせてシートから外します。



⑭カバーのラインを整えて、2列目背もたれの完成です。



⑮ヘッドレスト裏でプラフックを固定します。

2列目ヘッドレスト



④フックはカギ状になっているプラスチックに板状のプラスチックを、生地とともに折り返して挟み込み固定します。



①2列目ヘッドストは下から上へ持ち上げるようにかぶせます。



⑤ヘッドレスト裏は図のようになります。



②左右均等に引き下げて、ヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



⑥ヘッドレストをシートに戻します。カバーのラインを整えて1列目ヘッドレストの完成です。



②ヘッドレスト裏の図です。両端のメス側のマジックテープの付いた生地を内へ寄せながら、オレンジの線で囲んだオス側のマジックテープを貼り付け固定して、1列目と同様にブラフックで固定します。

1 列目アームレスト

※アームレスト付きコンソール装備車のみご覧下さい。



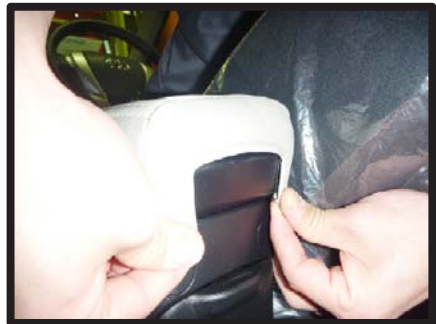
④ 2列目両端のヘッドレストの裏側は図のようになります。



① アームレスト部分を起こしてカバー裏側のゴムを通しながらかぶせます。カバー裏側の側面をつなぐゴムが3本あります。細いゴムが前に来るようにカバーをかぶせます。この際、オレンジ矢印の縦に付いていゴムに荷重がかからないように、作業は慎重に行ってください。



⑤ 2列目中央ヘッドレストの裏側は図のようになります。



② アームレスト全体にカバーをかぶせます。



③ ①のオレンジ矢印のゴムを、図の隙間に引っかけるように通します。

1 列目アームレスト

※運転席アームレスト装備車のみ
ご覧下さい。



④アームレストの付け根部分にも18ページの③と同様にゴムを引っかけるように通します。



①背もたれカバーを装着する前にアームレストをシートから外します。ヘラなどを使用して図のプラキャップを外します。



⑤アームレスト裏は図のようになります。



②ソケットレンチなどを使用して、ボルトを外します。ソケットは14mmを使用します。



⑥アームレストのラインを整えて完成です。

※より強固に固定されたい場合は、生地裏に市販の両面テープを貼り付けるなどして取り付けて下さい。



③ボルトを抜くとアームレストがシートから外れます。

この状態から、4ページの背もたれカバーの装着を行います。



④背もたれカバーを装着した後、アームレストをシートに戻せるように、カバーに穴を開けます。まず指でカバーを押さえて、アームレストの軸と穴位置を確認します。



⑦軸と穴位置を中心に、シート表皮と同様にカバーに穴を開けます。



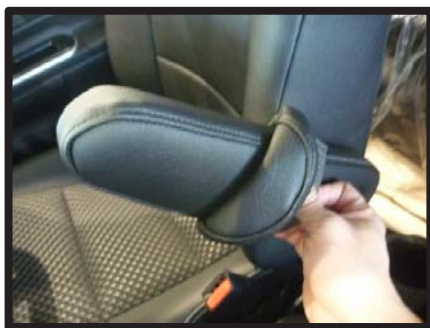
⑤軸と穴の位置が確認できれば、図のように印を付けます。



⑧アームレストをシートに戻します。



⑥ハサミやカッターを使用して、印を付けた位置に穴を開けます。この際シート自体に傷を付けないようにご注意ください。



⑨アームレストカバーをかぶせます。図のようにアームレストの先端が張るようにしっかりとかぶせていきます。



⑦アームレストの軸の付け根までカバーをかぶせて、軸の内側に生地を引っ掛けるようにかぶせます。



⑩アームレストのラインを整えて完成です。



⑧軸の内側に生地がしっかり入り込むように、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



⑨アームレストの角度を変えて、軸回り全て生地をしっかりと入れ込みます。

完成図



1 列目・ヘッドレスト分離式



1 列目・シートバック一体式



2 列目・背もたれ6 : 4分割



2 列目・背もたれ一体式



2 列目・背もたれ6 : 4分割、背面



2 列目・背もたれ一体式、背面

…→ コンビニ（買い物）フックの加工方法

2015年11月4日発表、一部改良後の特定モデルには、コンビニフックが1列目・2列目背もたれの裏に装備されています。コンビニフックを使用するにはシートカバーに穴開け加工が必要です。カバーの穴開け加工は**自己責任**でお願いします。



- 1 背もたれカバーを装着する前にコンビニフックを外します。図は外したコンビニフックを横から見た所です。コンビニフックは、上の大きなツメと下の小さなツメでシートに固定されています。



- 2 フックを半分倒すと、下側に1番の下のツメの表側が見えます。こちらにヘラなどを差し込み、シートからコンビニフックを外します。
※先端がある程度固いものではないとツメを起こすことが出来ません。



- 3 2番の位置にヘラなどを差し込み、上に突き上げるようにしてツメを起こします。その状態でコンビニフックの下側を手前に引くとコンビニフックがシートから外れます。図ではコンビニフック下側の隙間にヘラを差し込み、下のツメをマイナスドライバーで起こして外しています。図のようなやり方でも外せますが、シートやコンビニフックに傷を付けないように十分ご注意ください。



- 4 コンビニフックがシートから外れました。



- 5 背もたれカバーがしっかり固定されていることを確認します。
※穴開け加工をした後にカバーを大きくくすらすたりすることは出来ません。



- 6 カバーの上からコンビニフックが付いている位置を確認します。



- 7** コンビニフックが付いていた位置にそって図のように印を付けます。
※やり直しが出来ない作業のため、始めは少し小さめに印を付けるようにして下さい。



- 8** 印を付けた部分の生地を、シートに傷を付けたりしないように慎重に切り取ります。切った生地は完全に取り除いて下さい。折りたたんだりすると、生地の厚みが増し、フックが元通りに固定できません。



- 9** コンビニフックを元に戻します。この際、1列目背もたれカバーの中にめくり上げた純正シートの生地が、コンビニフックの固定位置を覆ってしまっている場合があります。その場合は、めくり上げた生地を固定位置からずらすか、生地を折りたたんでかわすようにして下さい。
まず大きなツメをしっかりと引っ掛けるように下から上へ押し上げます。



- 10** 次に下側を押し込み固定します。しっかり固定出来ない場合は、穴の大きさが小さい可能性が考えられます。穴を慎重に少しづつ広げて再度確認して下さい。
※ツメ部分が損傷している場合は、何度試しても固定できません。



- 11** 1列目背もたれコンビニフックの加工完成図です。



- 12** 2列目のコンビニフックも1列目と同様に加工します。
2列目背もたれコンビニフックの加工完成図です。

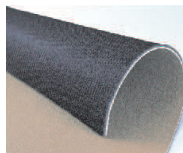


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

ウルトラセード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などに付けてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまった場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐに拭き取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。

